



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和6(2024)年度 11月号
<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

絆のある温かい学校や社会をつくるために 校長 宮崎 宏明

毎年この時期、子どもたちの歌声が学校中に響きます。10月22日(火)、西宮中三大行事に数えられる音楽会を杉並公会堂で開催しました。去年はインフルエンザに悩まされたので、今年も感染症等の流行を注視していましたが、何とか当日を迎えることができました。この日のため、実行委員たちは「全力謳歌～絆で奏でる最高の音色(ベストサウンド)～」というスローガンを掲げ準備を進めてくれました。当日は、美術部が一生懸命つくってくれた素晴らしい看板の下、どのクラスも練習の成果を発揮しましたが、特に3年生の合唱には圧倒され感動しました。また、夏の東京都中学校吹奏楽コンクールで金賞をとった吹奏楽部の演奏も素晴らしいものでした。皆様のご参観に感謝いたします。



○ 心に思ったことを思ったとおりに発信する風潮

このように西宮中生は、仲間を思いやり、絆を深めながら本当によく頑張ってくれましたが、昨今の世の中を見ると、自分の一方的な思いを正当化し、相手の立場や気持ちを考えずに発信したり行動したりする風潮が広がっていることに危惧しています。このことは9月号でも取り上げさせていただきましたが、子どもたちも大きな影響を受けるため、しつこく今月も取り上げさせていただきます。

今まさにアメリカ合衆国の大統領選挙が行われていますが、今回の候補者の一人がかつて大統領になったころ、世界的に「ポピュリズム」という言葉が流行していたのを覚えていらっしゃいますでしょうか？ ネットなどでその意味を調べてみると「政治変革を目指す勢力が、既成の権力構造を批判し、幅広く大衆に訴えてその主張の実現を目指す運動」などとなっています。その通りなら民主主義にとってはある意味望ましい姿かもしれませんが、大衆受けすることを安易に追求したり、不満をもつ人々の気持ちを代弁したりして、他を考えずより多くの支持を得るようとすることに走りがちになります。結果として社会的弱者の人権が侵害されたり、社会的分断をおおったりする危険があると危惧されました。

その後アメリカ合衆国でもヨーロッパでもどんなことが起こっていったかは、皆様それぞれのご理解の通りです。皆様それぞれにお考えがあるでしょうから、それ以上のことを論じるつもりはありませんが、あくまでも私の印象では、そのころから公でも個人レベルでも、今まで理性や思いやりでセーブしていたものが、「もう我慢しなくてよい」「(相手の立場がどうであろうと、例え相手が社会的弱者であろうと)言いたいことは言ってよい」という風潮が一層広がっていたように感じています。また、SNSの普及がこうしたことに拍車をかけています。悪意のある一方的な考えが野火のように広がり、相手を傷つけ、根拠のない偏見や差別を助長し、時には国の政治の方向まで変えてしまうようなこともあるかもしれません。

○ それを言っちゃあ おしまいよ！

柴又駅前にて校長撮影

唐突ですが、保護者の皆様は松竹映画「男はつらいよ」はご存じですか？ 山田洋次さん原作・脚本・監督(一部は除く)で、1969年から約半世紀にわたってシリーズ50作もつくられた国民的喜劇映画です。その大人気の源泉は数々あれど、何と言っても我がままでおっちょこちょい、あちこちで問題を起こすけどなぜか憎めない、故 渥美清さん演じる「フーテンの寅」こと、主人公である車寅次郎(くるま とらじろう)の存在です。



テキ屋稼業で旅暮らしの寅さんが、突然実家である柴又のだんご屋さんに帰ってくると、妹のさくらやおいちゃん夫婦は戸惑いながらも温かく迎えます。が、あまりの寅さんの我がままに耐えられなくなったおいちゃんが「出ていけ！」と本音を口にすると、決まって寅さんは「それを言っちゃあ おしまいよ！」と返します。そのたった一言で一方的に突き放され、修復しようがないだろうと言いたいのでしょうか。

もしも寅さんが今の世に出てきて、SNS上の誹謗中傷を見たり、憎しみを正当化する人々の発言を聞いたりしたら、間違いなくこのセリフを言ってくれると思っています。どんなことでも我慢して耐え続けるというのは間違いですが、今の風潮が加速し、誰もが相手のことを考えず、思うままに言いたいことを言ってしまうらどうなるのでしょうか？ 大人がこんなことをしていれば、必ず子どもに影響すると思います。

最近、身近なところでも、子どもたちのSNS上でのトラブル、それが原因でのトラブルが増えているように思います。SNSでは面と向かっては言いにくいことも簡単に言えてしまいます。真実でないことや偏った一方的な考えも瞬時に広がります。一旦発信したことは容易に消すことができません。子どもたちに「それを言っちゃあ おしまいよ！」と言ってあげられるのは、ご家庭と学校だと思っています。

西宮祭音楽会

10月22日（火）、杉並公会堂において、令和6年度西宮祭音楽会が開催されました。今年度は昨年度に引き続いてコロナ禍の制限がなく、課題曲と自由曲の2曲を歌い、マスク着用もなく存分に歌声を響かせることができました。また昨年度はインフルエンザの流行により、クラスの数がかかなり少ない状況で歌うことになったクラスがありましたが、今年度は万全な状態で合唱に臨むことができました。

今年度のスローガンは「全力謳歌 ～絆で奏でる最高の音色（ベストサウンド）～」でした。「謳歌」には「声を合わせて歌う」、「声をそろえてほめたたえる」、「恵まれた幸せを大いに楽しみ、喜び合う」という意味をこめています。また、最高の音色（ベストサウンド）は、この音楽会を通して絆を深め、学校全体で創り上げる西宮中だけの最高の音色を奏でたいという思いを胸に、実行委員を中心に音楽会への準備を進めてきました。当日の合唱は、元気いっぱいな1年生、迫力と美声の2年生、力強さと繊細さ、ハーモニーが群を抜いている3年生の歌声で、会場にいた全員の心が動かされる音楽会でした。生徒の活躍を見にきていただき感謝申し上げます。来年度以降の音楽会も楽しみです。

金賞	3年C組	結
	2年C組	輝くために
	1年B組	マイバラード
指揮者賞	3年B組	

（音楽会担当）



1学年「夢の世界を」



2学年「時の旅人」



3学年「大地讃頌」



吹奏楽部



1年B組



2年C組



3年C組



指揮者賞



音楽会実行委員

赤い羽根共同募金

10月8日(火)に、生徒会と杉並区社会福祉協議会のみなさまと一緒に、久我山駅で、赤い羽根共同募金を行いました。募金を実施するにあたり、9月30日(月)の専門委員会で、杉並区社会福祉協議会の方をお招きして、募金の目的や使い道などについてお話をいただきました。募金で集まったお金の65%は、杉並区内の社会福祉施設やボランティア団体に使われることや、町を良くするためにお金が使われることなどを学びました。

募金実施日は、生徒会本部のみなさんがとても大きく明るい声で、駅で通りすぎる人々に対して呼びかけを行っていました。社会福祉協議会の方々も、西宮中学校の生徒会本部の呼びかけ方に対して、とても感銘を受けていました。その呼びかけのおかげで、次々と募金に足を運ぶ人の姿が見えました。協力してくれた西宮中学校の生徒のみなさんもありがとうございました。生徒会本部の協力によって、30分程度の時間で、28,141円もの額が集まりました。このお金が有意義に使われることを願っています。生徒会本部のみなさんも、本当にお疲れ様でした。

(生徒会担当)



第61回ふれあい運動会 ボランティア

10月12日(土)杉並第十小学校校庭で、「第61回ふれあい運動会」中学生ボランティアに、ボランティア部の部員、1年2名、2年2名の合計4名が参加しました。2年生は2年連続参加です。

障害がある方とリズムダンス・玉入れ・パン取り競争・リレーなどの4競技を行いました。

最初の「リズムダンス」は、手に青と黄色のポンポンを付け、「青」「黄色」と色で右・左の指示をインストラクターの先生が出し、初めてでもスムーズにダンスを楽しむことができるよう工夫されていたことが印象的でした。

2番目の競技「玉入れ」では、視覚障害がある方の疑似体験をするために特殊なゴーグルを身に付けたり、聴覚障害の疑似体験をするためにヘッドフォンをして参加しました。障害体験は、貴重な体験になりました。

3番目の競技「パン取り競争」は、白い布テープの両端を持って障害がある方とつながって走りました。パンがロープにつるされている地点まで来たら、手でパンをピンチからはずして取ります。昔の「パン食い競争」のイメージで、つい、口でくわえてしまう人がいて、温かい笑いも起きました。

最後の競技は、「リレー」です。走るのが得意な障害のある方が半周、中学生が半周して、たすきをつなぎました。どの選手も勝負がかかっているため真剣で、全力疾走する姿に見ている観衆まで感動させられました。障害のある方も中学生も真摯に取り組む姿が素敵でした。

障害のある方とのふれあいは大変貴重な体験でした。最初、緊張した表情のボランティア部員も、競技がすすむにつれ、障害のある方に声をかけたり、笑顔で接することができるようになりました。杉並区の歴史ある行事に貢献出来て、本当に良かったと思います。(ボランティア部担当)



生徒会役員引継ぎ式・認証式

10月18日（金）に、生徒会役員引継ぎ式・認証式を行いました。旧生徒会が、生徒会に対して、各自担当している仕事内容について、1つ1つ丁寧に教えていました。1年生は初めての生徒会なので緊張している様子でしたが、これから自分たちが担っていく仕事なので、真剣に耳を傾けていました。

引継ぎが無事に終わり、旧生徒会で、1年前に生徒会が誕生して撮ったときと同じポーズで写真を撮りました。第63期の生徒会は、他学年交流レクリエーションを活発的に開催するなど、学校を大きく盛り上げてくれました。第64期の生徒会が、どんな活動をしてくれるのか、とても期待しております。
(生徒会担当)



部活動 大会結果報告

- 女子バスケットボール部 杉並区研修大会 第3位
- 男子バスケットボール部 杉並区研修大会 ベスト8
- サッカー部 杉並区新人大会 第6位

《11月の主な行事予定》

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 1日（金）進路面談始(3)
おしゃべりウィーク始(1.2) ○ 3日（日）文化の日 ○ 4日（月）振替休日 ○ 6日（水）朝学習英始
アフタースクールスタディ始
専門委員会
口腔保健指導（1） ○ 11日（月）進路面談終(3)
おしゃべりウィーク終(1.2) ○ 12日（火）朝学習英終
アフタースクールスタディ終 ○ 13日（水）第3回定期考査始 ○ 15日（金）第3回定期考査終 ○ 18日（月）全校朝礼
区生徒意識実態調査②（3） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 19日（火）中央議会 ○ 20日（水）職員連絡会 ○ 22日（金）区生徒意識実態調査②（2）
避難訓練（不審者対応） ○ 23日（土）勤労感謝の日 ○ 25日（月）生徒会朝礼
理解移動プラネタリウム（3）
区生徒意識実態調査②（1） ○ 30日（土）いのちの教育（1）
SDGsに関する学習（2）
こども地域活動促進事業 |
|--|---|

行事予定に変更がある場合は、まなびポケットや一斉メール、または書面等で、速やかにご連絡いたします。